

ダム工事で実績

SEC機械協会



伊藤会長

SECコンクリート

機械協会(伊藤祐二会長)は4月28日、都内のホテルで通常総会を開いた。

開会のあいさつに立った伊藤会長は「SECコンクリート工法は北海道、四国の両地方整備局発注のダム工事に採用されるなど技術提案で多くの実績がある」と話し、施工性と耐久性の向上でメリットがあるSEC工法を提案することで良質な構造物の建設に貢献していく姿勢を示した。SEC工法は、今年3月末時点で鉄道工事で197件、道路工事で265件の吹付けコンクリートに採用されていると報告した。

総会では、会員の大林組と清水建設に協会賞を授与したほか、特別講演として東海大学工学部の笠井哲郎教授が「循環型社会の形成とセメント・コンクリート」の題で講演した。